平成24年6月27日

第１０回最上小国川流域環境保全協議会の開催概要について

標記の環境保全協議会について下記のとおり開催しました。

第１０回環境保全協議会では、第９回以降に実施した環境影響調査や、今後の工事予定について、詳細を説明し御意見をいただきました。
具体的には「第９回協議会における指導事項と対応」「平成２３年度環境影響調査の報告及び平成２４年度環境影響調査の中間報告」「今後の環境調査及び工事予定」について説明し、各委員から活発な御意見をいただきました。

記

１　日　時　平成２４年６月２７日（水）　１３：３０ ～ １４：５０

２　場　所　新庄市　市民プラザ　小ホール

３　出席者　１１名（１２名中１名欠席）
原委員長、伊藤一雄委員、伊藤準悦委員、今井委員、梅田委員、萱場委員
菊池委員、野口委員、柳原委員、矢野委員、横倉委員　（欠席：柴田委員）

４　各委員からの主な御意見

・今井委員　【猛禽類調査】
・調査結果から、今年度の工事が猛禽類・ヤマセミに与える影響というのは全く問題視されるものではない。また調査方法についてもこれまで通りで問題ない。

・横倉委員　【昆虫類調査】
・マグソクワガタは湛水域外でも多く確認されているため、湛水後に戻ってくる可能性が高い。また、県内でも各地で見つかっている。
・最上町の調査で、イチゴナミシャクという山形県未記録種が確認されたため、今後の調査で注意が必要である。

・原委員長　【工事中の濁り発生】
・工事に伴い、河川の濁りが懸念されるため、工事前からポイントを設けて濁りの状況をモニタリングするとともに、濁りが出ないように注意が必要である。

・萱場委員　【工事中の濁り発生】
・モニタリングについて、濁度計の他に、降雨時に現場近くで確認できるような方法の検討が必要である。

【開催概況】